

苫東環境コモンズの
活動をまとめて報告



haskap

NEWS LETTER

～コモンズの現地から発信する～

勇払原野のSPIRIT

コモンズの視線

28年初めてのニュースレター「第16号」をお届けします。最近、ちょっと嬉しいニュースが聞こえてきました。三重大学名誉教授の三井昭二氏が、都市住民との連携による新しいタイプの「コモンズ」の提起などを通じて社会的協働による道筋を示したことが理由で「みどりの学術賞」を受賞されたことです。「みどりの学術賞 (The MIDORI Academic Prize)」とは、国内において植物、森林、緑地、造園、自然保護等に係る研究、技術の開発その他「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に内閣総理大臣が授与するもの。実は身近な緑を管理する際に森林をコモンズと呼びかえる例がなかったので、当初は苫東のそれを恐る恐る「環境コモンズ」と呼んだのですが、これからは「コモンズ」と堂々と呼ぶことにしようかな、と。そういうことになれば「苫東環境コモンズ」は当初案にもどして「苫東コモンズ」と略称しようかと本気で考えているところです。

(事務局：草苺) ホームページ <http://homepage3.nifty.com/hayashi-kokoro/> 雑木林&庭づくり研究室

TOPIC 1

フットパス視察などのガイド依頼



9月28日、札幌の旅行会社が主催するツアー一行28名が、柏原フットパスを訪問。翌週の10月2日にはコープさっぽろ関係の自然観察会を頼まれガイドしました。前者は草苺、後者は小山さん、稲葉さんが担当しました。

柏原フットパスに来られたのは海外までも足を延ばす旅行グループで、このような身近なところに風土のおいがたっぷり残ったフィールドがあったことに一様に驚かれた様子でした。特にこの一帯がヒグマの貴重な移動経路(コリドウ)になっていることを話すと、特別の感覚で受け止められるようでしたが、「そんな背景もあって当NPOでも一人でここを何度も歩いた人はほとんどいないはず」と話すと何人かがしきりにうなずかれたのが印象的でした。

小山、稲葉の両理事がガイドしたつた森山林もそうですが、苫東には雑木林そのものや海辺の原生花園の原野など、秘蔵のマイ・フィールドにできる場があり、まさにコモンズ的なアクセスが可能な稀有なエリアとしてほそぼそと向き合うには絶好の場ですが、位置づけは当分流動的なものとなるようです。

TOPIC 2 ハスカップ関連

2-1 ハスカップ企画展

2月から苫小牧市美術博物館でハスカップを多面的に見直す企画展が開催され、当NPOでも資料協力と座談会での事例報告を行いました。博物館の小玉学芸員によると、約1か月の開催期間内に苫小牧、厚真町、

安平町、千歳市などの近隣の人だけでなく、遠く札幌方面からも来場者がいたようです。

ハスカップを主役にした新しい地域活動を念頭に置きつつ、GPSを用いた植生調査を継続し、市民への聞き取り調査などを手掛けてきた当NPOとは、一部連携した事業展開となっており、今後はハスカップの市民史「ハスカップとわたし」(仮称)の編集出版に向けて、勇払原野のアイデンティティを探すことになりそうです。(写真はハスカップを使ったスイーツを開発販売している㈱三星の白石元社長室長の記念講演)



2-2 ハスカップ聞き取り調査すすむ

(前田一步園財団の27年度助成活動)



NPOでは前田一步園財団の助成を受け、ハスカップ自生地の群落調査とハスカップとゆかりの深い市民にハスカップとともにあった暮らしにスポットをあてて聞き取り調査を行ってきました。上の写真は弁天で

農業を営んでいた黒畑ミエさん（中央）と長峰修さん（右）のご兄弟に10/31に伺ったときのもの。弃天開拓の時代の家の周りであった自生ハスカップの様子や、用地買収に応じて錦岡に転居してからのハスカップ栽培について話を聞きました。

このほか7月は静川開拓の齊藤泉さん、8/1には安平町遠浅の大島ヒロ子さんと娘さんご夫妻のほか遠浅町内の住民の方に、ハスカップ摘みの様子と利活用などを聞きました。27年度はこのほか、(株)三星のもと工場長さんや駅前ハスカップイベントを続けてきた方、千歳農協の元ハスカップ担当者などにも興味深い話を伺っています。28年度も引き続き行い、ハスカップの市民史「ハスカップとわたし」（仮称）の出版につなげる考えです。

TOPIC 3

最寡雪の中、大島山林の間伐と運搬



27年冬の大島山林の保育間伐はかつてなく雪の少ない状況で行われました。雪は多すぎても作業に影響しますが、問題は林道を痛めないよう実施するスノーモービルを用いた材の運搬です。今年も2月後半から時々除雪を加雪に変えて実施。それでも林道の雪が消えた3月上旬によく完了しました。



27年9月末からの活動報告

各行事末尾の数字は参加者数

- 9/26 sat キノコ研修、育林コンペ、テラスの防腐剤塗り？ 4
- 9/29 mon さっぽろガイド、柏原フットパス訪問、苦東で緑地打ち合わせ（草薙）
- 10/2 fri コープさっぽろ関係グループつた森山林ガイド（oyama inaba）
- 10/3 sat 薪小屋に防腐剤（inaba）、小屋前の里山警官作業（草薙） 計2
- 10/10 sat am10:30 第14回理事会@テラス & 小屋そうじ、小屋前の間伐整理と薪割り 5
- 10/13 tue ハスカップ研究者をサンクチュアリに案内（オ

- レゴン州立大、北大)
- 10/24 sat 第6回NPO総会@小屋テラス 11
- 10/31 sat ①大島山林のフットパスの落ち枝拾いと倒木処理・点検 2
- ②4:30 ハスカップ聞き取り調査@ときわ町 1
- 11/7 sat 平成27年度チェンソースキルアップ講習会@雑木林ケアセンター 9
- 11/14 sat 大島山林①の合同作業（札幌ウッドィーズ）と前進テント制作 +サイン補修 8+8
- 11/21 sat 小屋の薪づくりと育林コンペ作業 7
- 11/28 sat 大島山林の作業前進基地へ資材搬入&育林コンペ 8
- 12/5 sat 育林コンペ⇒予定変更＝「大島山林の間伐②、本格着手」 5
- 12/12 sat 苦東ウッドィーズの山の神参拝、忘年会 11
- 12/19 sat 大島山林③ 2
- 12/23 wed 大島山林④ 1
- 12/26 sat 大島山林⑤ 5
- 1/9 sat 大島山林⑤ 仕事はじめ 9
- 1/16 sat 大島山林⑥9
- 1/23 sat 大島山林⑦ 4
- 1/30 sat 大島山林⑧ 8 total59
- 2/6 sat 大島山林⑨ 8
- 2/13 sat " ⑩ 8
- 2/20 sat " ⑪3+美術博物館のハスカップ座談会 6
- 2/27 sat 大島山林の手入れと材の運搬 ⑫ 8
- 2/28 sun 土地所有者との新年度事業計画検討
- 3/03 thu 大島山林の保育⑬間伐材の運搬⑬（午前）4、午後、ハスカップの聞き取り調査@千歳
- 3/05 sat 大島山林の保育 ⑭ 7
- 3/12 sat " ⑮ 8
- 3/19 sat " ⑯ 材の玉切り、薪割りを開始 7
- 3/26 sat 材の玉切り、薪割り@大島山林の広場⑰ 8
- 4/2 sat " ⑱ 8
- 4/9 sat " ⑲ 10

////////// **編集後記** //////////

■昨年10月24日のNPO総会の前週、米国オレゴン州立大と北大のハスカップ研究者を苦東のハスカップサンクチュアリにお迎えしました。そしてこの2月に始まった市の美術博物館のハスカップ企画展までの足取りを振り返ると、どうも総合的にハスカップを主役にした洗い直しが始まった風に見えます。その稀有なうねりを極論するとハスカップを真ん中に置くとおのずと苦小牧と勇弘原野のアイデンティティにつながっていくのです。まだ手付かずのジャンルにも一歩が始まったという意味ではハスカップ・イニシアチブと呼ぶ段階に差し掛かったようです。

■今年度から北大の環境社会学の宮内泰介教授のところに中国から留学している女性の大学院生が苦東 commonsの里山活動を対象に調査研究に着手します。里山は自然だけでなく人の営みがカギですから是非遠浅の町内会のかたがたにも交流を深め、外からの目で commonsを言葉にしてほしいものです。

■ある新聞社が推す地域の環境活動団体に当NPOがノミネートされている、と聞きました。残念ながら、50歳未満が2分の1以上であることが受賞条件のため対象にはなりませんでしたが、こういった話が聞こえてくるのは楽しいものです。華々しい評価をあてにしていけない分だけなおさらでした。（草薙）

お問い合わせ

NPO 法人苦東環境 commons 事務局

草薙 kt-884-556@nifty.com

携帯 090-6999-2765